

ガバナー月信

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER 2006→2007

NO. 8



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760

2007年
2月1日発行

2月は、世界理解月間です。



2月

ガバナーメッセージ	2
世界理解月間によせて	4
公式訪問を終えて	5
@2760だより (バストガバナーからのメッセージ)	6
I.M.開催のお知らせ	7
委員会報告	8
@2760だより	10
国際親善奨学生の皆さんへ	11
ガバナーからの報告・お知らせ	12
会員数及び出席報告	15

「飛 翔」

国際ロータリー 第2760地区
ガバナー 斎藤 直美

〒470-0373 豊田市四郷町東畑125 さなげメディカルビル内
TEL.0565-44-2760 FAX.0565-44-2761
E-mail governor06-07@rotary2760.org
Governor's HP <http://2760.jp>

Governor Message

ガバナー メッセージ

クラブ会長各位
クラブ幹事各位

厳寒の候、御見舞い申し上げます。

師走の太陽と比べて2月の陽光は力強く輝が少し増しているように感じられます。

2月は世界理解月間ですが「世界理解」という熟語はなかなか一般の人には「理解」しにくい言葉ではないでしょうか。

世界平和に欠かせない国際理解と親善を深め WCS を中心としたプログラムに参加しようということでもあります。

そもそも WCS は前月号でも触れました通り、ロータリー運動（哲学）そのものを変質させ方向転換させた張本人であります。

ロータリーの奉仕活動を個人→クラブないし地区へ、単年度→数年度へ（プログラムも人事も）変化させたのですが、意外にも職業奉仕至上主義の先輩ロータリアンには見逃されてきてしまいました。I だ We だとか He だ They だとか論じている間にこの「変質」はロータリー運動を曲げて方向を少しずつずらしています。

WCS のプログラムは相手国のニーズに援助をすることによってその国のロータリアンに勇気を与えその地域の人々に自立の意識を芽生えさせる行為なのです（と私は考えていますが）。ともすればそれは不遜であり、思い上がりでもあるので十分にそのことに考えを及ばせなくてははいけません。

1月20日(土)にセントレア空港を発った地区 WCS の活動メンバーは水谷委員長を団長とする23名でした。勿論小生も参加しました。タイの3360地区(チェンマイ・チェンライ地区)の御尽力と JICA



ガバナー 齋藤直美

のご協力のお陰でラオスのホアイサラー村の小学校の建設・引渡を行ってまいりました。地区一任の資金337万円を有効に使用の確認したいという思いもあります。詳細は WCS 委員長より次月号で報告させていただきます。

今月24日～3月1日には名古屋みなと RC の野村会長のお誘いでラオスの WCS 活動に参加してビエンチャンへ行ってきました。この2回のラオス紀行はロータリアンとしての小生に何を与えてくれるのでしょうか？1人の老境に入った男にどんなショックを与えてくれるのでしょうか？実に楽しい限りです。

さてロータリー年度も下半期に入りました。クラブでは次期役員も決まり会長エレクトを中心に胎動があるでしょうが、会長・幹事の皆様にとりましては成果が有った無かったかを決める総仕上げの期間であります。どうぞ気を緩めずにクラブ運営を今まで通りに実施して下さい。また委員会活動のまとめと次期へ渡せるものは何かをチェックして下さい。

今年度は一時お休みを頂いていた IM を再開させました。各分区のガバナー補佐さんの並々ならぬ御努力で開催されますが従来のような IM から脱皮してコーヒー一杯の親睦と研修に集中して実り多きものになるよう御努力下さい。そして貴クラブの次なるリーダーを育てるプログラムの一環として御利用下さい。まだまだ寒さは続きます。御自愛されますよう。

草々

ロータリー世界理解月間によせて

地区国際奉仕委員会

委員長 安井 隆豊



(1) ロータリーの国際奉仕の歴史

1905年、シカゴでロータリークラブは各職種から会員を求めクラブを作った。活動は、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕と呼ばれる活動に焦点を当てていた。

1914年に英国とアイルランドの8つのRCが戦争難民の住居を援助した。

1919年にテキサス州が竜巻で大被害を出した時、他国のロータリーは国際ロータリー災害救援基金に寄付を送った。

1923年関東大震災では東京クラブは基金を受け、2年後の米国の竜巻被害にはお返しをした。こうして国際奉仕は第4の奉仕部門となった。

(2) ロータリーの青少年奉仕

1927年に青少年交換プログラムはコペンハーゲンRCが米国の少年数人を受け入れてはじまり翌年61人の青少年交換がおこなわれた。

1928年には「世界平和の若き巡礼者」として米国から3百人もの青少年がスカンジナビアの家庭を訪れ、5週間滞在した。今日15歳から19歳の学生約7千人が数週間から1年間で他国のロータリアン家庭にホームステイしている。現在RI2760地区では、交換学生は受け入れ、派遣ともに13人の予定です。

(3) ロータリーの世界社会奉仕

1962年の理事会で採択された世界社会奉仕WCSプログラムは発展途上国のクラブが地元で有意義なプロジェクトを開始する援助をし、彼らを援助する意欲と資源のある先進国のクラブを組み合わせ、国際ロータリーはライブラリーを設置した。

1980年の創立75周年を記念して、3H補助金プログラムが誕生した。WCSは保健、飢餓追放、人間性尊重に関わるプロジェクトを長年取り扱ってきたが、この3Hプログラムの成功により、国際奉仕の意識がたかまった。この活動がポリオプラスというロータリー史上で最も明るい灯火を点すきっかけとなった。地区昨年度のWCSの状況はクラブ独自での活動が31クラブで、一任は38クラブ、321万円あり、初めてラオスの小学校校舎を贈呈し、このご縁でラオスにも初のロータリークラブが設立された。これは国際ロータリー第2760地区の歴史的快挙です。

(4) その他の国際奉仕

1957年には国際ロータリー理事会は毎年2月を世界理解月間に定め、特にロータリー創立記念日の2月23日を「世界理解と平和の日」に定めた。世界理解月間には政治的、宗教的、文化的に視座の違う人々の間で、よりよい理解を築くための活動を行うよう奨励している。地区では新事業として、海外クラブとのバナーの交換を促進してみようと提案をしています。また、外国人と運動会をしようの事業に参加してみようの提案をしたところ、青少年奨学生、米山奨学生、そしてロータリアンの参加により、盛大に行われて、外国人の皆さんも楽しかったとの評判でした。

(5) おわりに

ロータリアンにとって国際奉仕はお金を出すことだけではない。国際奉仕の最大の報酬は異文化相互理解への橋渡し役になるという満足感であり、世界各地の恵まれない住民を援助する為に時間と才能を使うという思いやりの喜びである。そして、マンネリにならないように、常に創意工夫をして新たな国際奉仕に挑戦したいものである。

公式訪問を終えて

ガバナー 齋藤 直美

2006年11月16日ホームクラブの豊田 RC を最後に全ての地区内クラブの公式訪問を終える事が出来ました。公式訪問に際しましては会長－幹事の皆様方には大変丁寧なお迎えとそれに続く会長・幹事懇談会を和やかに進め下さしまして心より御礼申し上げます。

訪問させていただくクラブの年度計画書はきちんと2・3日前より読ませて頂き、その都度質問事項などチェックさせて頂きました。

そして次々と示される新情報に大きなカルチャーショックを受けました。

第一に見させて頂いた事は会員の教育プログラムであります。新入会員に対して、5年・10年と経ったメンバーの再教育に対してどのような方法でロータリー情報を伝えているのかという事があります。これは強力な退会防止策であるからです。入会して以来、IM、地区大会、世界大会に参加したことがないとか、クラブの研修会に出席したことがないとか有り得べからざる事への質問もしました。これは杞憂に終わり胸をなでおろしています。

第二番目は会員増強に対する具体的な方法であります。御存知の通り会員を増やしましょうと言っても増えません。会長の強い意志と方策がないとメンバーは増えませんので、その辺りのことをお尋ねしました。

三番目は出席を促すために出席委員会はどうのような戦術をとっているのか、クラブの長老を加えたリーダー達は毅然とした態度を取っているのか、メーキャップして他のクラブの見学を勧めているのか、などでありました。これ等の会活の中で「スリーピングメンバー」という由々しき単語が出てきたのには驚きました。長期病氣入院の場合はともかく、お仕事に専念されているにも関わらずホームクラブの例会には欠席しメーキャップもしないメンバーはクラブ細則にその処遇は明記されているはずであります。

四つ目は例会の途中退席であります。これは非常に少ない事が判明しホッとしています。

五番目の質問事項は社会奉仕、国際奉仕などのプログラムであります。

クラブ奉仕が充実し例会などが円滑に作動していないとこのプログラムは立案されませんし、従来からクラブに奉仕活動として存在していてもメンバーのストレスになるだけで会員減少につながり兼ねません。

最後にお尋ねした事はロータリー財団、ロータリー米山奨学会への寄附の事です。こればかりは一覧表となっているので少ないところはよろしくと頭を下げ、平均以上のクラブさんにはありがとうと頭を下げてきました。この寄附行為はロータリー運動全体を眺め理解して初めて納得してから行うべき行為であると考えますので、その辺の情報活動を会長さんをお願い申し上げます。

終わってしまえば楽しかった公式訪問でした。知人が増えました。30年前の友人に会えました。素晴らしいプログラムを持つクラブを発見しました。そして地区内外へ伝えたいと思いました。

ロータリーは人との出会いと自己研鑽ということが実感できました。新しい感動を求めてWCSやGSEにそして新世代のためのプログラムに参加してみようかなという気持ちにさせて頂いた半年間でありました。

本当に色々とお難うございました。



パストガバナーからのメッセージ

「新世代の健全育成を願って」

パストガバナー 松本 宏



21世紀を担う青少年を健全に育成することは、我々ロータリアンにとりましても大きな課題であります。わが国の青少年をめぐる問題の現状を見ますと、家庭や地域社会など青少年を取り巻く環境は、物質的な豊かさと、電子メディアの想像もつかない速度での進歩などにより、多くの青少年に、思いやりや心の豊かさの欠如が生じています。その結果として青少年の非行、犯罪の増加は、極めて憂慮すべき状態にあります。このような現象は成人社会の乱れに起因している面もあり、その是正が望まれます。

青少年の健全育成のスタートは、出生直後からの正しい育児から始まります。好ましい母子相互作用による母と子の絆をしっかりと形成して、その後の自発性と共感性の発達が極めて重要な要素となります。その支援が大切であります。

子ども達の電子映像メディア接触の「早期化」「長時間化」は、憂慮すべき状態にあります。子ども期に、人間としての心とからだ、そしてコミュニケーション能力を育成することが重要であり、親は正しい知識のもとに、子どもを指導しなければなりません。我々ロータリアンもこの新しい問題を正しく認識して対応することが求められます。

1996～97年度ルイス・ジアイR I会長は、今迄の「青少年への奉仕」を「新世代のためのロータリー・プログラム」と改正して、各ロータリアンの責務は、年齢30才までの若い人すべてを含む新世代を確かなものにするために、生活力を高めることによって新世代に将来への準備をさせることであるとして、新世代の基本的ニーズを支援するプログラムに着手することを奨励されました。新世代会議も、その時に発足したもので、大きな成果を挙げる事が出来たと思います。

2660地区（大阪府北部）教育問題特別委員会は、4年間にわたり検討を重ねて、「21世紀教育改革への提言」心豊かな社会における人間教育の探求を発表されました。その内容は、①人間教育の重視②豊かな社会における教育のあり方を問う③学校教育改革への提言④ロータリアンの立場からとなっています。この提言の内容はすばらしいものであり、我々が取り組もうとしている教育問題の指針として、大変参考になると思います。

次世代を担う青少年の健全育成に向けて、我々ロータリアンは、その推進に積極的に参加されることを期待いたします。

2006～2007年度 I.M. 開催のお知らせ

◆ 2 月の開催 ◆

南尾張分区	日 時：2007年2月10日(土) 15:00～19:00 場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル I.M.テーマ：「原点回帰」 講 師：斎藤直美 DG 「ロータリー運動を考えよう」
西尾張分区	日 時：2007年2月4日(日) 15:30～20:00 場 所：名鉄グランドホテル I.M.テーマ：「原点回帰」 講 師：斎藤直美 DG 「原点回帰」
西名古屋分区	日 時：2007年2月7日(水) 16:00～19:30 場 所：名古屋マリオットアソシアホテル I.M.テーマ：「ロータリーに心を ロータリーを心に」 講 師：加納泉 PDG (パネルディスカッション講師)、 岡部快圓 PDG (講演「原点回帰」)、片山主水ガバナー補佐 (基調講演)
東名古屋分区	日 時：2007年2月5日(月) 16:00～19:20 場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル I.M.テーマ：「たのしく、ためになるロータリー」 講 師：ジャーナリスト 内田忠男氏「最新世界情勢と日米」

2006～2007年度 I.M. 開催のお知らせ

◆ 3 月の開催 ◆

東三河分区	日 時：2007年3月18日(日) 13:00～17:15 場 所：田原市 華山会館 フォーラム「クラブ自慢だ！フォーラム！」
西三河中分区	日 時：2007年3月3日(土) 13:30～18:00 場 所：名鉄トヨタホテル7階 金扇の間 I.M.テーマ：「原点回帰—ロータリーを知ろう」 講 師：地区研修リーダー 岡部快圓PDG
西三河分区	日 時：2007年3月17日(土) 14:00～18:30 場 所：知立リリオコンサートホール及び 知立セントピアホテル I.M.テーマ：「原点に帰ろう」 パネルディスカッション「会員増強と女性会員」

委員会報告

★地区クラブ奉仕委員会報告



地区クラブ奉仕委員会
委員長 岡本伊三雄

年々会員数も減少し、増強もままにならない時代になって、クラブ運営が大変難しくなってきました。年会費とのバランスを考え、ロータリアンとしてのプライドを保ちつつ、どのようにクラブを運営するかが重要になってまいりました。数年前までは、クラブ奉仕委員長は何をしたらよいかよくわからない委員会でしたが、ここにきて大変重要な委員会になってきました。クラブ運営をいかにうまくやるかと言う大事な役を担うことになってきたわけです。そこで今年度の地区クラブ奉仕委員会からは、四つの強調事項を提唱しております。

- ① 委員長の統括すべき委員会の確認と把握 ② クラブ運営の効率化 ③ 魅力あふれる例会
④ 魅力あふれる会員

魅力あふれるロータリアンが魅力あふれるクラブを作り、魅力あふれるロータリーとして世間から認知され、尊敬されることを方針としております。ロータリークラブは趣味だけの集まりでもないし、仲良しクラブでもありません。ロータリークラブは、ロータリーの哲学、倫理を養う道場としてあるのだと思います。クラブ奉仕委員長さんは、クラブ運営にとって大事な要と御座いますので、そのリーダーとなっていただけるような方を人選してもらいたいとお願いしております。そしてクラブ運営のマンネリを打破して、変えてはいけないことはしっかり守り、変えなければならないことは勇断を振るって改革され、老壮青三位一体となって、人・物・金を生かし合い、喜び合うすばらしいクラブを作られることを心より念願いたします。

★地区会員増強委員会の主な活動

(2006年7月～2006年12月現在)



地区会員増強委員会
委員長 菊岡深智子

1. 地区増強委員会

- | | |
|--|----------------------|
| ・第1回 5月9日(火) 14時～16時 (ガバナー事務所分室) | 内容：各自自己紹介と今後の打ち合わせ |
| ・第2回 6月13日(火) 14時～16時 (ガバナー事務所分室) | 内容：地区会員増強委員長会議の打ち合わせ |
| ・第3回 7月7日(火) 14時～16時 (ガバナー事務所分室) | 内容：地区会員増強委員長会議の役割分担等 |
| ・第4回 8月2日(水) 地区内クラブ会員増強委員長会議 10時30分～15時30分 (名鉄グランドホテル) | |
| ・第5回 12月6日(火) 18時～ (名鉄グランドホテル) | 内容：前期活動の反省会 |

以上、5回の委員会を開催する。

2. 国際ロータリー地区会員増強委員長セミナー (岡山県にて)

11月24日(金)11時～16時 (ホテルグランピア岡山)

菊岡委員長が出席。国際ロータリー会長ボイド氏の講話(30分程度)が印象に残る。長身細面の優しくて情熱のある方と思われる。

○国際ロータリー会長ボイド氏の講話

会員増強は非常に重要な問題である。人数が多い少ないではなくて自分達のクラブで何をするかと言う「方法」を考えるべきである。少子化の中で若い世代に対して何を呼びかけるのか……。厳しい時代ではあるがロータリーへの誘い、誘い方で興味を持ったり、失ったりする。大切なのはクラブの充実であり、全員がロータリーと言う「地球村の一員である」と言うことを良く考えてPRをして、新人に自分達の活動を見てもらう。勧誘する手段・方法を考えることが大切である。皆さんが情熱を持って一人一人に会うことが重要であると考えます。例えばロータリーに入会し易くする。早朝例会とか若い人が出やすい環境を整える。若い人にはビジネスに結び付くことも必要かも知れません。例会を楽しく、ロータリーを好きになってもらう親睦を重視して下さい。皆さん頑張ってください。……と結ばれました。

会員の皆様、斎藤ガバナー方針「仲間の5%増加」を目指して下さい。ガバナー賞は皆さんの手でいただきます。新年を迎えてロータリーの繁栄を祈ります。



★地区新世代委員会報告

地区新世代委員会

委員長 加藤 康治



9月の新世代月間には多くのクラブより卓話のご依頼を受け、副委員長共々次世代を担う青少年への思いを伝えるため参上いたしました。

インターアクトは7月に海外研修を無事終え、すでに次年度のための第1回インターアクトクラブの研修会は始まっております。

次年度のインターアクトクラブを早く軌道に乗せるには、学校の顧問の先生に委ねる以外方法は無いのが現状です。

学校と提唱クラブとのより密接な関係が必要とされます。

ローターアクトは国内研修が済み、年度後半に全国研修（石川県）海外研修・地区親睦・年次大会とこれからが本番です。又、全国研修会（09～10年度）のホスト地区として当地区の開催が予定されております。

ライラは尾張中央ロータリークラブがホストクラブとして、瀧本会長はじめ、クラブ会員が一丸となって新しい指導者研修会（ライラセミナー）としての一步を築くべく、本当にご努力願っております。

新世代委員会はキャリアウイークの一環として次世代を担う中学生に職業体験・講師の派遣を推進いたしております。

多くの企業より職業体験を登録いただいておりますが、生徒の半数も体験できないのが現状です。

文部科学省も児童一人一人の勤労観、職業観を育てるために、キャリア教育推進のための手引きを各地区に教育委員会を通じて配布いたしております。一層の皆様のご登録をお願いします。

地区新世代の委員会にはIA・RA・RYLAの委員会が在りますが、各委員会での融和を図るべく、多くの委員の方々にお集まりいただき、しっかりと懇親も深めております。

更なる委員会を求めて後期もしっかりと努めて参ります。

★米山奨学生・学友会合同忘年会報告

地区米山奨学委員会

委員長 小山 慎介



斎藤ガバナー、加納米山記念奨学会理事、千田ガバナー補佐、天野地区副幹事ご同席のもと、米山奨学生・学友（元奨学生）家族を含む60余名を囲んで、ロータリアンと合わせ総勢130余名の大忘年会が行われました。Butter Gameのジャズ名演奏に聞き入り、あまRC大竹・鈴木両氏による素晴らしいマジックショーに驚嘆した後、奨学生・学友の家族による書道やピアノ演奏、手品、太極拳のアトラクションが披露され、斎藤ガバナーご出身の豊田市猿投「棒の手」メンバー7名による伝統農民武道の披露が会を盛り上げました。熱い歓談が続き、予定時間を大幅にオーバーしましたが、最後に民族衣装を披露しながら手に手をつないでの大合唱でフィナーレとなりました。今回はカウンセラーの皆様以外に、世話クラブではないクラブ奨学委員長5名を含め11名のクラブ奨学委員長の方々のご出席され、米山奨学事業の柱である国際交流の「現場」を体験していただき、一段と意義深い会となりました。ご出席・ご協力いただいたロータリアンの皆様に深く感謝いたします。



@2760だより

尾張旭ロータリークラブ

『ヤングミュージックフェスタ in 尾張旭』

尾張旭ロータリークラブは、今年創立36周年を迎え、創立20周年には、市立中学校において音楽鑑賞会を実施、同30周年には、芸術大学吹奏楽部及び県立高校音楽会を実施しました。

1991年に、教育・文化・スポーツの国際的な振興を図るため、わが国と海外の国との架け橋となる青少年、並びに尾張旭市と隣接地域に居住する青少年の健全なる育成の目的をもって、尾張旭 RC 国際・地域青少年育成基金（英文名 Rotary Club of Owariasahi International and Territory Fund for the development of Youths 略称 OFDY）

を設け、毎年9月と3月に OFDY 月間として基金を会員から募っています。

4年前から、新世代委員会と OFDY 委員会を中心に地域青少年に音楽を通じての情操教育の向上と健全育成を願って音楽会を開催し、昨年度は、「尾張旭ロータリークラブ創立35周年記念・第4回ヤングミュージックフェスタ in 尾張旭」として市教育委員会の共催、市 PTA、市子ども会連絡協議会、市青少年健全育成推進会議の後援を得て、約1,000人収容できる市の文化会館で実施。多数の方々が鑑賞しました。

本年度も、第5回として11月18日(土)に同会館にて開催し、奇しくも RI2760地区地区大会と重なりましたが無事終えることができました。

出演は、尾張旭児童合唱団、市内の渋川・三郷小学校の2校、旭・東・西中学校の3校、そして県立旭野高校、総勢340名にて、日頃練習した成果を合唱・鼓笛演奏・吹奏楽演奏を通じて見事に発表して音楽の素晴らしさを聴かせてくれました。

出演の児童生徒たちは、担当の先生を中心に「一生懸命に」「ひたむきに」良い音を追求しながら、チームワークを保つために気と心を合わせて協調性を育んだ絶好の機会だったと思われます。

児童の司会の言葉の中にもロータリークラブに対しての感謝の意が表されて、今年のロータリーの RI テーマ『率先しよう』に少しでも近づけたかなと喜んでいきます。

そして、たくさんの声援と拍手がどれほど生徒を励まし、また、思い出に残る体験であったかと確信しております。

「持続は力なり」次年度も今回にも増して充実した演奏会になるよう会員一同頑張っていく所存です。



名古屋昭和ロータリークラブ

『わが昭和クラブの「ザ・ダンナーズ」』

毎年恒例のクリスマス家族会に何か余興をとということで、2001年に、会長・幹事経験者を中心に15名前後のメンバーが集い、合唱団「ザ・ダンナーズ」を結成しました。

それ以来、毎年家族会で歌っておりますが、今年度(去る12月18日)は、長洲剛「乾杯」、クリスマスソング「赤鼻のトナカイ」、それに NHK テレビの“みんなの歌”で歌われた、会員 伊丹氏ご令嬢の直子さん作詞・作曲「みんな名古屋」の3曲を「ザ・ダンナーズ」のメンバー全員が、歌手になりきって熱唱いたしました。



2007年～2008年度

国際親善奨学生の皆さんへ



地区財団奨学委員会
委員長 川辺 清次

留学“おめでとうございます”

特に健康に気をつけて留学生生活を満喫して下さい。勿論、勉強も大事ですが、ロータリーの留学制度は他の制度と違い、ロータリアンの参加があってその国の文化、生活、習慣等新しい環境に溶け込むチャンスを与えられます。それがただ単に資金援助を与えるだけの制度と違うところです。どうか、そのチャンスを活かしてエンジョイして下さい。

若い時しか出来ない、いつまでも思い出に残るいい経験をして来て下さい。

2007～2008年度

財団奨学生「オリエンテーション」開催のお知らせ

日 時：2月25日(日) 時 間：13：30～15：30
会 場：名鉄ニューグランドホテル

奨学生のみなさま

	氏名	言語	専攻分野	推薦RC	出身校2
1	吉野麻子	英語	教育学	一宮	南山大学
2	浅野友紀	ドイツ	外国語教育学	名古屋葵	
3	杉山卓史	ドイツ	美学	三河安城	愛知県立岡崎高校
4	志々見剛	フランス	フランス文学	名古屋名東	東京大学(学士)
5	柿並良佑	フランス	哲学	名古屋東南	東京都立大学
6	梅田耕嗣	英語	機械工学	豊川	
7	森ちなつ	ロシア	文学部	小牧	
8	堤香苗	英語	旅行学	半田	
9	太田貴大	英語	鳥類学	名古屋名南	
10	柴田香代	英語	英語教育法	豊田三好	同志社大学
11	赤坂尚子	ドイツ		大府	立教大学
12	鈴木智也	英語	経営学修士	春日井	
13	安藤清香	英語	社会学	犬山	東京外国語大学

ガバナーからの お知らせ・報告

第4回地区諮問委員会

日時：2007年1月20日（土）

AM11:00～

場所：名鉄グランドホテル

出席対象者

奥谷 博俊(P.D.G.)	内藤 明人(P.D.G.)
福田 浩三(P.D.G.)	野村 重彦(P.D.G.)
盛田 和昭(P.D.G.)	福田 清成(P.D.G.)
加納 泉(P.D.G.)	太田賢太郎(P.D.G.)
神戸 政治(P.D.G.)	岡部 快圓(P.D.G.)
宮地 信尚(P.D.G.)	豊島 徳三(P.D.G.)
蜂谷 弘道(P.D.G.)	大島 宏彦(P.D.G.)
石川 和昌(P.D.G.)	高橋 治朗(P.D.G.)
松本 宏(P.D.G.)	斎藤 直美(D.G.)
	江崎 柳節(D.G.E.)

◆オブザーバー：

藤井地区幹事

河村次期地区幹事

松井地区副幹事

●大島パストガバナー挨拶

●協議事項

1. 2007～2008年度 テーマ
2. 2007～2008年度 地区予算
3. 2007～2008年度 地区委員会組織図拡大表
4. 2007～2008年度 地区役員及び委員会委員
5. 2007～2008年度 チーム研修セミナー 開催要項・プログラム
6. 2007～2008年度 会長エレクト研修セミナー 開催要項・プログラム
7. 2007～2008年度 地区協議会指導者会議 開催要項・プログラム
2007～2008年度 地区協議会 開催要項・プログラム
2007～2008年度 地区協議会分科会指導者名
8. 2007～2008年度 地区大会 開催要項
9. 2007～2008年度 地区ガバナー公式訪問・ガバナー補佐訪問
10. 2007～2008年度 ガバナー補佐・補佐幹事及び担当副幹事・委員会
11. 2007～2008年度 IM、GSEについて
12. 2007～2008年度 新設統廃合委員会について
13. 2007～2008年度 地区奉仕プロジェクトについて(100万ドルの食事)

■ 上記項目について協議しました。

西三河分区ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会

- ◆ガバナー補佐 羽田 育哉
- ◆日 時 11月23日(木) 勤労感謝の日
- ◆場 所 葵カントリークラブ
- ◆参加人数 120名
- ◆ホ ス ト 刈谷 RC

当日は、天気予報が雨と言っていたにもかかわらず、帰るまで雨は降りませんでした。参加者全員の心掛けが良かったのだと思います。

また、団体・個人とも次年度ガバナー補佐のクラブが優勝され、大変良い結果になりました。ご協力ありがとうございました。

団体優勝 知立 RC

// 2位 刈谷 RC

// 3位 碧南 RC

個人優勝 磯貝 一己 (知立 RC)

// 2位 寺田 孝司 (安城 RC)

// 3位 鈴木 光春 (一色 RC)



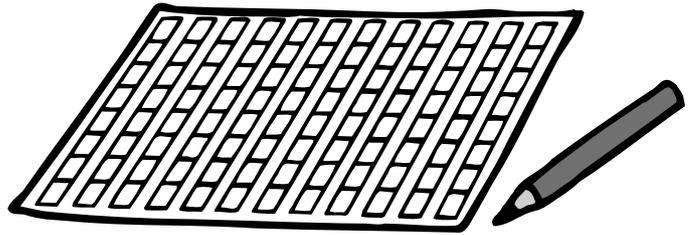
締切り迫る!

ガバナー賞・RI会長賞について

1. ガバナー賞応募の件

ガバナー賞へ御応募下さい!!

- 我々クラブ自慢の奉仕活動('06~'07年度)
- あのクラブのあのロータリアンを推薦
- 今年はこの委員会でこんな事を行った('06~'07年度内)等々。
※800字以内にまとめて提出して下さい。
※特に規定や資格はありません。
※〆切: 19年2月末日



2. RI会長賞の件

2006~07年度RI会長賞に挑戦してください。

※詳しくは地区便覧51頁をご参照下さい。 ※〆切日要注意。

● 国際ロータリー第2760地区 諸会議予定 ●

● 次年度地区チーム研修セミナー

日時: 2007年3月10日(土) 場所: ウェスティンナゴヤキャッスル
 受付/15:00~ 会議/15:30~17:00 懇親会/17:00~19:00

● 2007~2008年度会長エレクト研修セミナー【PETS】

日時: 2007年3月17日(土) 場所: ウェスティンナゴヤキャッスル
 受付/9:30~ 会議/10:00~16:00

● 地区協議会のための指導者会議 ホストRC: 豊田東RC

日時: 2007年4月1日(日) 場所: ウェスティンナゴヤキャッスル
 受付/13:00~ 会議/13:30~16:00

● 地区協議会 ホストRC: 豊田東RC

日時: 2007年5月6日(日) 場所: ウェスティンナゴヤキャッスル
 受付/9:30~10:20 会議/10:30~16:00

ガバナーからの お知らせ

ロータリー財団国際親善奨学生募集

■下記内容にて募集を予定しております

- 目的 ロータリー財団では奨学生を募集しています。ロータリークラブのある他国で専門分野の勉強をしながら国際理解と友好関係を推進する親善使節としての使命を果たしていただきます。
- 奨学金の種類
 - 1) 1 学年度国際親善奨学金 支給額：23,000ドル
支給期間は、ロータリー財団管理委員会が指定した教育機関における正規の1 学年度（通常9ヶ月）です。主要目的は親善使節としての役割にあり、期間も1年であるため、学位や卒業証書を取得することはできません。
 - 2) マルチ・イヤー国際親善奨学金 支給額：23,000ドル
支給期間は、ロータリー財団管理委員会が指定した教育機関における2年間です。1つの教育機関で1つの学位を取得するためにのみ支給されます。
 - 3) 文化研修のための国際親善奨学金 支給額：10,000ドル
支給期間は、ロータリー財団指定の語学学校における3ヶ月間の語学集中研修と文化実習のためのものです。
- スケジュール
 - (1) 各ロータリークラブ受付締切 ……………2007年3月31日(土)
 - (2) 各ロータリークラブ選考 ……………2007年4月上旬
 - (3) ガバナー事務所受付締切 ……………2007年4月13日(金)
 - (4) 奨学生書類選考会 ……………2007年4月20日(金)
 - (5) 奨学生面接 ……………2007年5月26日(土)
 - (6) 合格通知 ……………2007年6月上旬まで(本人宛)
 - (7) 奨学生オリエンテーション・壮行会 ……………2008年2月上旬

2008-2009年度国際親善奨学生応募条件

▶応募条件1(資格)

- ・愛知県在住、在学、在勤、もしくは本籍地をおく者。
- ・奨学金開始年度以前に、大学課程を少なくとも2年修了しているか、高等学校卒業生で少なくとも2年間、常勤で職業に従事していること。

※次の方は応募資格がありません。

- a) ロータリアンまたは名誉ロータリアン
- b) その配偶者：兄弟姉妹、尊属（両親および祖父母）、直系卑属（血縁による子、孫、入籍している養子）とその配偶者
- c) 奨学金有資格者になることを目的に退会した元ロータリアン

▶応募条件2(語学の成績)…2760地区の応募条件

申請時に次の要件を満たしていること。

【1 学年度国際親善奨学生、マルチ・イヤー2 年国際親善奨学生】

- a) 英語圏：「1年以内の TOEFL スコア」CBT(240点)以上、PBT(587点)以上、iBT(94点)以上
- b) その他言語：「BERLITZ ロータリー語学テスト A」Level 7 以上(大学課程) Level 7・8 以上(大学院課程) ロータリーテストのお問合せ先 (BERLITZ 名古屋駅前校 TEL: 052-561-4611) 尚、b) の場合、合格者は「ロータリーテスト B」に合格しなければなりません。(財団本部のコーディネーター決定後)

【文化研修3ヶ月国際親善奨学生】

- a) 1年以内の TOEFL スコア：コンピュータテスト(170点)以上
- b) その他言語：BERLITZ ロータリー言語テスト A Level 3 以上

▶応募条件3(派遣先)

- ・留学国にロータリークラブがある。
- ・同一国2校(同一都市でないこと)まで、3カ国以上、5つの希望校を出すこと。※【ロータリー財団管理委員会(国際ロータリー)は、列記された教育機関のいずれか、または別の適切な教育機関を指定する権限を有します。】
- ・以下の場所は派遣できません。
 - a) 既に入学している教育機関への派遣
 - b) 10歳を超えてから6ヶ月以上滞在したことのある国への派遣
 - c) イギリスは(イングランド・スコットランド・ウェールズ・北アイルランド)からそれぞれ2校ずつ選択可能。
 - d) 言語の使用地域が限られている場合は2カ国にわたり2校と3校にわけて申請可能なこともあります。
- ・文化研修3ヶ月国際親善奨学生
 - a) 研修を希望する言語および留学地を選択していただきます。※【ロータリー財団管理委員会(国際ロータリー)は、奨学生の希望以外の国の語学研修機関に、奨学生を配属する権限を有します。】
 - b) Home Stay になります。

- その他 詳細は、RID2760ガバナー事務所分室へお問い合わせください。
TEL: 052-211-2760
FAX: 052-211-0230
E-Mail: office@rotary2760.org

会員数及び出席報告 (平成18年12月分)

クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例会数	12月出席率
	2006年7月1日	7月1日女性	2006年12月末日		12月	累計	12月	累計		
	7月1日	女性	12月末日		12月	累計	12月	累計		
半田	60	3	60	3	0	3	1	3	3	100%
常滑	54	0	54	0	0	0	0	0	4	96.59%
東海	57	2	60	2	1	3	0	0	4	92.50%
東知多	24	1	23	1	0	0	1	1	3	74.92%
半田南	49	1	47	1	0	1	2	3	3	98.45%
知多	23	0	24	0	1	1	0	0	3	87.50%
大府	25	1	24	1	0	1	1	2	4	86.75%
7 RC	292	8	292	8	2	9	5	9		90.96%
一宮	78	0	80	0	0	4	1	2	3	98.18%
津島	75	3	77	3	0	2	0	0	4	93.55%
尾西	31	0	31	1	0	1	0	1	3	92.47%
一宮北	55	0	55	0	0	1	0	1	4	91.38%
稲沢	60	0	60	0	1	2	1	2	3	91.16%
あま	88	0	92	0	0	4	0	0	4	98%
名古屋清須	39	1	38	1	0	0	1	1	4	85.36%
尾張中央	46	0	44	0	0	1	2	3	4	86.03%
一宮中央	53	4	53	5	1	2	2	2	4	93.15%
9 RC	525	8	530	10	2	17	7	12		92.14%
瀬戸	73	3	78	3	0	6	0	1	4	100%
犬山	82	0	80	0	0	0	1	2	3	100%
江南	52	1	53	1	0	2	0	1	3	98.63%
小牧	51	3	49	3	0	1	2	3	3	90.91%
春日井	62	2	62	2	0	3	1	3	4	100%
尾張旭	30	0	30	0	0	0	0	0	4	99.17%
名古屋空港	56	1	55	2	0	1	1	2	3	100%
瀬戸北	70	4	70	4	0	0	0	0	3	100%
岩倉	19	0	18	0	0	0	1	1	4	92.10%
豊山・城北	20	1	23	2	0	3	0	0	3	91.23%
愛知長久手	22	2	25	2	0	3	0	0	4	64%
11 RC	537	17	543	19	0	19	6	13		94.19%
名古屋	178	0	192	0	0	16	0	2	4	91.06%
名古屋西	102	0	101	0	0	4	3	5	3	87.92%
名古屋南	114	0	116	0	0	5	1	3	3	96.26%
名古屋みなと	72	0	74	0	0	4	2	2	4	95.21%
名古屋東南	72	6	72	6	0	1	0	1	3	96.98%
名古屋中	137	0	140	0	1	5	1	2	3	100%
名古屋瑞穂	72	0	73	0	0	1	0	0	3	96.15%
名古屋大須	68	3	69	3	0	1	0	0	4	94.84%
名古屋栄	71	0	70	0	0	2	3	3	3	94.26%
名古屋名南	78	12	75	11	0	2	3	5	3	100%
名古屋名駅	93	4	95	3	0	6	2	4	3	95.66%
名古屋西南	48	6	47	6	0	2	1	3	3	94.75%
12 RC	1,105	31	1,124	29	1	49	16	30		95.26%

クラブ 平均

平均出席率	81	94.49%
-------	----	--------

クラブ名	会員数			当月女性	入会		退会		例会数	12月出席率
	2006年7月1日	7月1日女性	2006年12月末日		12月	累計	12月	累計		
	7月1日	女性	12月末日		12月	累計	12月	累計		
名古屋北	94	0	98	0	3	7	1	3	4	100%
名古屋東	91	0	87	0	0	0	3	4	4	94.36%
名古屋守山	65	7	64	7	0	2	2	3	3	98.52%
名古屋和合	96	0	97	0	0	3	2	2	3	96.75%
名古屋名東	57	6	59	7	0	3	1	1	3	100%
名古屋名北	46	7	51	8	0	5	0	0	3	97.37%
名古屋千種	58	6	58	6	0	3	1	3	4	92.48%
名古屋昭和	59	0	60	0	0	2	1	1	3	98.85%
名古屋錦	34	6	35	6	0	1	0	0	3	84.31%
名古屋東山	57	2	56	2	0	0	0	1	3	74.69%
名古屋葵	24	0	24	0	0	0	0	0	3	79.71%
11 RC	681	34	689	36	3	26	11	18		92.46%
豊橋	118	4	120	4	0	2	0	0	4	92.78%
蒲郡	58	0	58	0	0	3	1	3	4	94.51%
豊橋北	91	2	93	2	1	6	3	4	3	97.41%
豊川	68	0	67	0	0	0	0	1	3	96.23%
田原	56	1	55	1	0	0	1	1	4	91.54%
豊橋南	64	0	64	0	0	1	0	1	4	97.44%
新城	55	0	53	0	0	0	1	2	4	93.52%
渥美	35	0	39	0	0	6	1	2	3	86.11%
奥三河	20	3	20	3	0	0	0	0	3	94.70%
豊川宝飯	54	0	56	1	2	3	1	1	4	100%
豊橋ゴールデン	63	0	61	0	0	2	2	4	4	95.98%
田原パシフィック	68	0	68	0	0	0	0	0	3	92.77%
豊橋東	48	0	48	0	0	0	0	0	3	100%
13 RC	798	10	802	11	3	23	10	19		94.85%
岡崎	95	1	96	1	0	4	3	3	3	98.36%
豊田	80	0	79	0	0	2	0	3	3	100%
岡崎南	95	2	94	2	0	2	1	3	3	96.98%
豊田西	101	0	101	0	0	1	0	1	3	100%
岡崎東	65	0	62	0	1	1	0	4	3	97.39%
豊田東	81	0	81	0	0	1	1	1	3	94.95%
岡崎城南	74	0	74	0	0	1	1	1	3	99.05%
豊田三好	21	2	21	2	0	0	0	0	2	94.74%
豊田中	47	5	50	5	0	4	1	1	4	100%
9 RC	659	10	658	10	1	16	7	17		97.94%
刈谷	89	2	96	4	2	9	1	2	4	100%
安城	62	1	61	1	0	0	1	1	5	96.81%
西尾	74	1	74	1	0	1	0	1	4	97.69%
碧南	75	0	77	0	0	4	1	2	4	97.69%
一色	30	0	29	0	0	0	1	1	4	98.35%
高浜	41	2	41	2	0	1	0	1	4	100%
知立	66	0	66	0	1	1	1	1	3	99.43%
西尾 KIRARA	62	0	60	0	0	1	2	3	4	98.71%
三河安城	53	5	55	5	0	2	0	0	3	94.44%
9 RC	552	11	559	13	3	19	7	12		98.12%

地区内クラブ数 81RC	2006年7月1日会員数	5,149名	内女性 129	増加会員数(累計)	178名
	当月会員数	5,197名	内女性 136	減少会員数(累計)	130名
	当月平均出席率	94.49%		差引純増会員数(累計)	48名



**ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760**

今月の表紙

小原和紙工芸
日展会員 山内一生
作



「飛
翔」

大空いっぱいに拡がり、力づよく飛び立つ鶴の姿に明るい未来を感じさせる。

椿の繊維で一羽一羽制作する事で精神の統一ができ、心にゆとりも生まれ、明日への希望がわいてくる。青の空間に鶴のみずみずしさが生命感を一層引き立てる作品である。